



# オランダの町にほんの詩



すがわらのみちざね たんか  
菅原道真の短歌



オランダの町、ライデンには建物のかべに詩が書かれています。全部  
で120以上の世界中の詩を読むことができます。



ウィリアム・バトラー・イエイツの詩



インゲボルグ・バッハマンの詩



ポール・ヴェルレーヌの詩



ヘリット・コムライの詩

たん か  
短歌

ライデンには日本語の詩もあります。そのひとつは菅原道真の短歌です。

短歌は日本の短い詩のスタイルです。ふつうは5つの部分があり、それぞれ5音、7音、5音、7音、7音です。

こちふかば においおこせよ うめのはな あるじなしとて はるをわするな	(五音) ななおん (七音) ななおん (五音) ごおん (七音) ななおん (七音)
東風吹かば 句ひおこせよ 梅の花 あるじなしとて 春を忘るな	こちふ にお うめ はな はる わす



菅原道真は平安時代（794年—1192年）の学者、政治家でした。845年に生まれて903年に亡くなりました。平安時代には京都に政治の中心があったので、道真は京都に住っていました。

京都はとても美しい町でした。道真は中国語を勉強し、短歌を作る  
 こともとても上手でした。天皇は道真を信頼していましたが、政治的な  
 戦いに負けて、901年に京都から九州の大宰府に送られました。  
 大宰府は京都から700Km西にある小さな町でした。道真は大宰府でいつ  
 も京都のことを思い出していましたが、京都に帰ることはできませんで  
 した。そしてその2年後に亡くなりました。とても悲しい話ですね。  
 道真はこの短歌にその悲しい気持ちを書きました。

京都の道真の家には梅の木がありました。春に東からの風が吹くと、



道真は大宰府よりずっと東にある京都  
 の家の梅の花のにおいを思い出しまし  
 た。そして、住む人（あるじ）（=  
 道真）のいない家の梅の木が春を忘れ  
 ないで、花が咲くことを願いました。

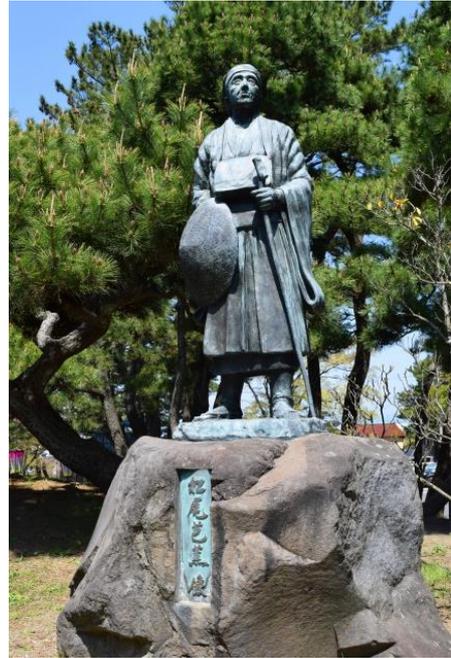
うめ はな  
梅の花

はいく  
俳句

まつ お ばしろう はいく  
ライデンには松尾芭蕉の俳句もあります。



ばしろう はいく  
芭蕉の俳句



ばしろう ぞう  
芭蕉の像

あらうみや  
さどによこたふ  
あまのがわ

ごおん  
五音  
ななおん  
七音

あらうみや  
荒海や

さど  
佐渡

あま  
天の川  
がわ

はいく たんか みじか し ふつう さんぎょう  
俳句は短歌よりもっと短い詩です。普通は三行でできています。

いちぎょうめ ごおん にぎょうめ ななおん さんぎょうめ ごおん  
一行目は五音、二行目は七音、三行目は五音でできています。

まつ お ぼしやう えど じだい ひと う さい とし き な  
松尾芭蕉は江戸時代の人です。1644年に生まれて、50歳の時に亡く  
なりました。たくさんすばらしい俳句を書いたのでとても有名です。

ばしやう にほんこくない りよこう ねん にちかん え ど  
芭蕉は日本国内をたくさん旅行しました。1689年に156日間、江戸

（東京）から北の地方を旅行して、たくさん俳句を作りました。そして

「奥の細道」という本を作りました。この俳句は「奥の細道」に入っ  
ています。

### ばしやう おく ほそみち はいく つく りよこう 芭蕉が「奥の細道」の俳句を作った旅行



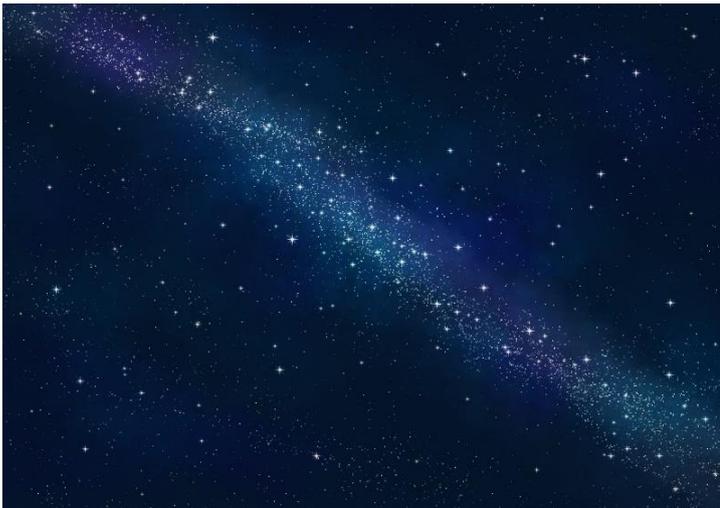
佐渡は新潟から約32Km西にある島です。この俳句では、芭蕉は本州の新潟にいて海の向こうにある佐渡を見えています。そして佐渡に住む人々のことを考えています。佐渡と本州の間には「荒い海」があります。波が高いです。

佐渡に住んでいる人々は島を出ることができないので、本州にいる家族や友達に会えません。これも悲しいですね。でも夜空を見ると、佐渡と本州の間に



荒い海

「天の川」が見えます。天の川は佐渡と本州をつないでいるようです。



天の川

俳句にはたいてい季節を表すことばがひとつ入っています。これは「季語」です。「天の川」はこの俳句の季語で、これは夏の季語です。芭蕉はこの俳句を夏に作りました。夏の夜、波の高い海、海の向こうに見える島、天の川、島に住む人々の悲しみ。

この俳句は作者の気持ちを表す美しい絵のようです。

ライデン市に行ったら、ぜひこの短歌と俳句の書いてある壁を見に行ってください。

かん  
完

Muurgedicht van Sugawara no Michizane © John Stelck

Muurgedicht van William Butler Yeats "A Coat" © Inge Harsten

Muurgedicht van Ingeborg Bachmann "Wahrlich" © Inge Harsten

Muurgedicht van Paul Verlaine "Chanson d'automne" © Inge Harsten

Muurgedicht van Gerrit Komrij "De schoolverlater" © Ed Visser

Muurgedicht van Matsuo Basho "Een Woedende Zee!" © Anoesjka Minnaard

All these pictures are from the website “Muurgedichten Leiden” <https://muurgedichten.nl/>  
licensed under Creative Commons BY NC 2.0

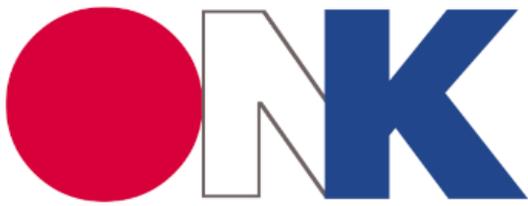
<https://creativecommons.org/licenses/by-nc/2.0/nl/>

うめ はな ぼしょう ぞう あら うみ あま がわ しゃしん  
梅の花、芭蕉の像、荒い海、天の川：写真AC <https://www.photo-ac.com/>

タイトル	にほんご <sup>たどく</sup> 多読の本 <sup>ほん</sup> レベル 3 『オランダの <sup>まち</sup> 町の <sup>にほん</sup> 日本の <sup>し</sup> 詩』
さんこう 参考	<a href="https://muurgedichten.nl/nl">https://muurgedichten.nl/nl</a>
ぶん 文	いのうえ ふ み こ 井上富美子
はっこう 発行	オランダ <sup>にほん</sup> 日本語 <sup>ご</sup> 教師会 <sup>しかい</sup> <a href="https://www.orandanihongokyoshikai.nl/">https://www.orandanihongokyoshikai.nl/</a>
せいさくび 制作日	2022年 <sup>ねん</sup> 12月 <sup>がつ</sup> 5日

©オランダ日本語教師会 2022  
無断転載・引用は禁止します。





**オランダ日本語教師会**

Dutch Association of Japanese Language Teachers